



# 第94期 中間報告書 平成24年4月1日～平成24年9月30日

●株主のみなさまへ	1
●連結決算	2
●部門別の概況（連結）	4
●連結貸借対照表	5
●連結損益計算書	6
●株式の状況	7
●役員	7
●トピックス	8

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当中間期におきましては、空調機部門では、建設プロジェクト向け商談が好調な中東や個別空調方式エアコンの認知度向上が進む北米向け等の売上が前年同期を上回りましたが、欧州において金融不安に伴う消費の冷え込みや天候不順の影響を受け販売が低迷したことなどから、海外向けの売上が減少しました。国内向けは、第2四半期の販売はリビング向け大型クラスを中心に伸長しましたが、期初から好調だった前年に比べ上半期の売上は減少しました。また、情報通信・電子デバイス部門では、商談が前倒しで本格化しているデジタル消防無線システムの大幅な売上増加が電子部品・ユニット製造の売上減少を上回り、部門全体の売上は増加しました。

これらの結果、連結売上高は957億7千1百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

連結損益につきましては、営業利益は、空調機の減収により、好業績だった前年同期に対しては減益となりましたが、情報通信システムの増収および海外向け空調機の売価引き上げ効果に加え、銅等の素材価格の低下やコストダウンの進展が寄与し、最高益となった前年同期に次ぐ68億1百万円（同19.1%減）となりました。経常利益は、前年同期に比べ為替差額が大きく好転したことにより、68億2百万円（同16.5%増）、四半期純利益は44億5千4百万円（同36.5%増）となりました。なお、経常利益および四半期純利益は、上半期としては過去最高益となりました。

通期の見通しにつきましては、デジタル消防無線システムの商談が前倒しで進み受注が好調に推移するなか、情報通信システムにおいて一層の増収を図るとともに、空調機においても、今後投入予定の高機能機種や海外工場での量産設計によりコスト競争力を強化した新商品の拡販に取り組み、所期の計画を達成してまいります。

当社グループをとりまく事業環境は、欧州における金融不安の長期化に伴う世界経済の減速など厳しさを増しております。こうした状況においても自らを変革してさらなる成長に結びつけるべく、市場ニーズに応える商品開発力の強化と販売・サービス体制の充実をより一層進めるとともに、オペレーションの効率化をさらに進化させ、今後の事業規模拡大と収益性の向上に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役会長

大石 侑弘

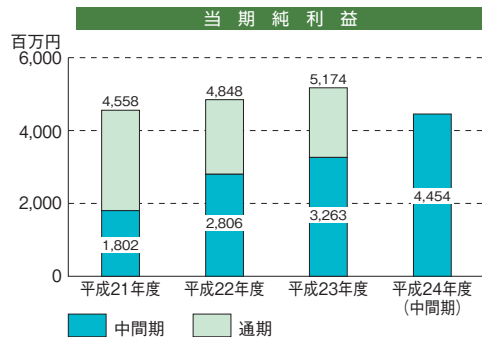
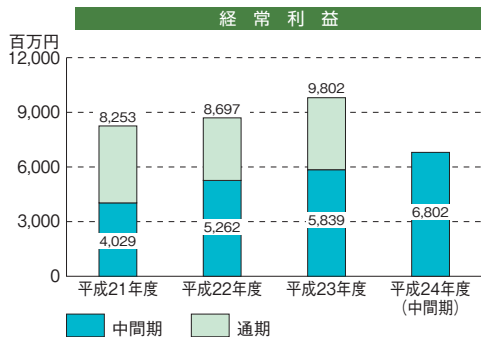
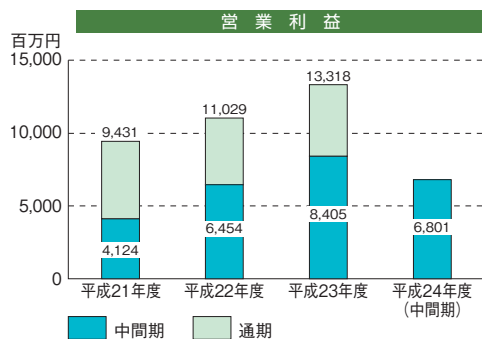
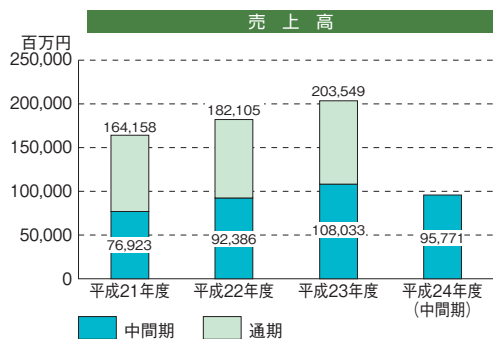
代表取締役社長

村嶋 純一

## 連結業績の推移

(単位：百万円)

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度
	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期
売上高計	76,923	164,158	92,386	182,105	108,033	203,549	95,771
空調機部門	67,496	139,184	80,617	156,562	95,352	174,535	81,909
情報通信・電子デバイス部門	8,219	22,382	10,167	22,006	11,327	26,856	12,997
その他	1,208	2,591	1,601	3,536	1,353	2,157	864
国内	35,260	65,147	42,235	74,797	46,430	79,322	43,879
海外	41,663	99,010	50,151	107,308	61,602	124,226	51,892
営業利益	4,124	9,431	6,454	11,029	8,405	13,318	6,801
経常利益	4,029	8,253	5,262	8,697	5,839	9,802	6,802
当期純利益	1,802	4,558	2,806	4,848	3,263	5,174	4,454



## 自己資本・自己資本比率の推移（連結）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度中間期
総資産(百万円)	119,094	120,402	121,486	111,536
自己資本(百万円)	24,124	27,730	33,083	33,712
(自己資本比率)	(20.3%)	(23.0%)	(27.2%)	(30.2%)

自己資本：純資産合計－少数株主持分

自己資本比率：自己資本÷総資産(負債純資産合計)×100

## 有利子負債残高・D/Eレシオの推移（連結）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度中間期
有利子負債残高(百万円)	32,093	26,847	22,528	19,351
D/Eレシオ(倍)	1.33	0.97	0.68	0.57

有利子負債：短期借入金＋長期借入金

D/Eレシオ：有利子負債残高÷自己資本

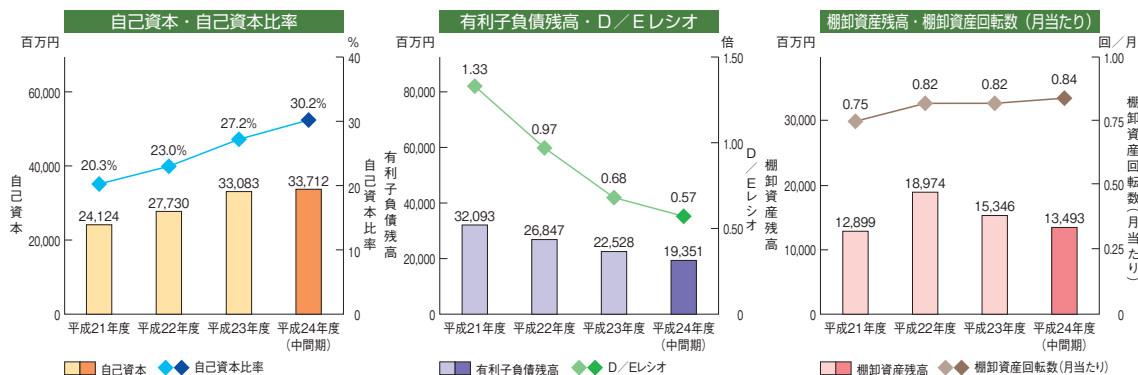
## 棚卸資産残高・棚卸資産回転数（月当たり）の推移（連結）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度中間期
棚卸資産残高(百万円)	12,899	18,974	15,346	13,493
棚卸資産回転数(月当たり)(回/月)	0.75	0.82	0.82	0.84

棚卸資産：商品及び製品＋仕掛品＋原材料及び貯蔵品

棚卸資産回転数（月当たり）：〔中間期〕売上高÷期中平均棚卸資産残高÷6

〔通期〕売上高÷期中平均棚卸資産残高÷12



# 部門別の概況（連結）

## 〈空調機部門〉

空調機部門の売上高は、819億9百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

### 〔海外向け〕

売上高は、517億9千4百万円（同15.3%減）となりました。

欧州では、金融不安に伴う消費の冷え込みに加え、ロシア、フランス等での天候不順により市況は低迷し、売上が減少しました。

米州では、省エネ性に優れた個別空調方式エアコンの認知度向上が進む北米向けの売上は前年を上回りましたが、ブラジルでは関税の引き上げ等に伴う採算面への影響を最小限にすべく、小型機種の出荷を抑制したことから、米州全体の売上は減少しました。

オセアニアでは、量販店ルート向けの販促強化により積極的な拡販を進めましたが、景気減速や期初の天候不順などから市況が低調に推移し、売上が減少しました。

中東・アフリカでは、サウジアラビアをはじめとする建設プロジェクト向け商談、ならびに本年6月より投入したウィンド型エアコンの新機種の販売が好調に推移し、売上が増加しました。

アジアでは、景気減速などからインド向けの販売が低迷し、売上が減少しました。

中華圏では、中国において9月に入り日本製品の販売に対する逆風の影響を受けましたが、新たに投入した普及タイプのインバーターエアコンの拡販および販路の拡大を進めるとともに、VRF（ビル用マルチエアコン）でも中小規模案件の受注に積極的に取り組み、売上が増加しました。

### 〔国内向け〕

売上高は、301億1千5百万円（同11.9%減）となりました。

ルームエアコン市場は、第1四半期は需要の立ち上がりが遅く天候不順の影響もあり低調でしたが、7月以降の好天により第2四半期は普及機種を中心に前年を上回る水準となりました。当社は、リビング向け大型クラスを中心に、業界最小サイズの室内機に充実した機能を搭載した中級機の拡販を進めましたが、第1四半期の天候不順の影響もあり高級機の販売構成比が低下し、期初から好調だった前年に比べ上半期の売上は減少しました。

## 〈情報通信・電子デバイス部門〉

情報通信・電子デバイス部門の売上高は、129億9千7百万円（同14.7%増）となりました。

### 〔情報通信システム〕

売上高は、84億5千5百万円（同36.7%増）となりました。

公共システムでは、震災を機に災害対応のインフラ整備事業が全国各地に進むなか、商談が前倒しで本格化しているデジタル消防無線システムの売上が大幅に伸長するとともに、消防指令システムでも顧客導入済みシステムへの機能追加や設備の増設、更新など比較的短納期の案件の受注増により、売上が増加しました。なお、デジタル消防無線と指令システムの連携機能や高出力無線機といった製品の優位性を活かして積極的な営業活動を展開し、下半期以降の納入に向けた受注も順調に推移しております。

民需システムでは、外食産業向け店舗システムの更新・増設提案の取り組みが進展し、売上が増加しました。

### 〔電子デバイス〕

売上高は、45億4千1百万円（同11.7%減）となりました。

車載カメラでは、エコカー補助金終了に伴い需要が急減しておりますが、震災影響で自動車生産が落ち込んだ前年同期に比べ売上は増加しました。電子部品・ユニット製造では、新規開拓に取り組んできた環境関連分野における販売は拡大傾向にあるものの、産業機器向けは企業の設備投資抑制や海外生産移行に伴う部品の現地調達拡大の影響を受け、売上が減少しました。

## 〈その他部門〉

家電リサイクル事業において、テレビを中心に使用済み家電の処理量が減少したことなどから、売上高は、8億6千4百万円（同36.2%減）となりました。

# 連結貸借対照表

(平成24年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>( 資 産 の 部 )</b>		<b>( 負 債 の 部 )</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>74,327</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>60,346</b>
現金及び預金	5,160	支払手形及び買掛金	20,344
受取手形及び売掛金	48,442	短期借入金	18,183
商品及び製品	9,348	未払法人税等	2,900
仕掛品	1,179	未払費用	9,459
原材料及び貯蔵品	2,965	製品保証引当金	1,830
繰延税金資産	2,268	その他	7,629
その他	5,452	<b>固 定 負 債</b>	<b>15,792</b>
貸倒引当金	△488	長期借入金	1,168
<b>固 定 資 産</b>	<b>37,208</b>	再評価に係る繰延税金負債	2,808
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>27,664</b>	退職給付引当金	10,962
建物及び構築物	20,127	その他	853
機械装置及び運搬具	24,931	<b>負 債 合 計</b>	<b>76,139</b>
工具、器具及び備品	11,255	<b>( 純 資 産 の 部 )</b>	
土地	9,472	<b>株 主 資 本</b>	<b>35,414</b>
建設仮勘定	174	資本金	18,089
減価償却累計額	△38,297	資本剰余金	529
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>2,283</b>	利益剰余金	16,894
のれん	40	自己株式	△97
その他	2,243	その他の包括利益累計額	△1,701
<b>投 資 其 他 の 資 産</b>	<b>7,261</b>	その他有価証券評価差額金	8
投資有価証券	1,823	繰延ヘッジ損益	368
繰延税金資産	4,793	土地再評価差額金	4,470
その他	670	為替換算調整勘定	△6,550
貸倒引当金	△25	<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>1,684</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>111,536</b>	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>35,396</b>
		<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>111,536</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		95,771
売 上 原 価		70,531
売 上 総 利 益		25,240
販売費及び一般管理費		18,438
営 業 利 益		6,801
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	15	
受 取 配 当 金	32	
為 替 差 益	281	
そ の 他	80	409
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	234	
そ の 他	174	408
経 常 利 益		6,802
税金等調整前四半期純利益		6,802
法人税、住民税及び事業税	2,835	
法人税等調整額	△592	2,243
少数株主損益調整前四半期純利益		4,559
少 数 株 主 利 益		104
四 半 期 純 利 益		4,454

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。





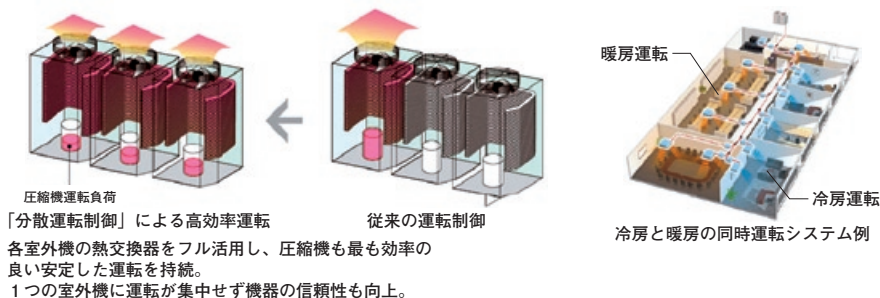
## ■ビル用マルチエアコン「AIRSTAGE」に冷暖同時運転タイプVR-IIシリーズを追加

当社は、海外で展開しているビル用マルチエアコン「AIRSTAGE」シリーズに、新たに開発した冷暖同時運転タイプのVR-IIを追加し、欧州、豪州市場に向けて、本年10月より順次発売しています。

1台の室外機で各部屋個別に冷房・暖房を自由に選び運転できる冷暖同時運転タイプは、マシンルーム（コンピュータ室）とオフィスで空調ニーズが異なる場合や日差しの影響で室温差が大きい建物に有効な個別空調として、海外では需要が高く、今回のラインアップ追加で、より幅広いニーズに応えることが可能となりました。

本製品は、新開発の冷媒制御方式や室外機の分散運転制御方式などの独自技術により、業界トップクラスのエネルギー消費効率を達成するとともに、省スペース設計の室外機や長配管設計など、高い施工性を有しています。

本製品投入に合わせ、海外販社や販売代理店様・設置業者様向けの技術研修を実施するとともに、北米への展開も予定するなど、今後のビル用マルチエアコン事業の拡大に取り組んでまいります。



## ■室内空間に調和する外観と高い基本性能を両立したルームエアコン「Fシリーズ」

本年11月、当社は「薄型で洗練されたデザインと高い省エネ」をコンセプトとした国内向けルームエアコン「Fシリーズ」を発売しました。

本製品は、室内機の厚さを18.5cm（奥行寸法）に抑えるとともに、緩やかな曲線を描く大型フロントパネルを採用し、運転時に見える風向フラップや吹出口まわりの造形要素にも統一感を持たせることで、室内空間に調和するシンプルで洗練されたデザインに仕上げました。

室内機の薄型化に際しては、独自開発の「高密度マルチパス熱交換器」を搭載することで、高い省エネ性・高暖房能力とデザイン性の両立を実現しました。

本製品の海外展開モデルは各種デザイン賞を受賞するなど高い評価を得ており、国内においても、デザインやインテリアを重視するお客様のニーズに応えてまいります。



「Fシリーズ」の室内機

### 海外で受賞したデザイン賞の数々



「iFプロダクトデザイン賞」  
（ドイツ）



「レッドドット・デザイン賞」  
（ドイツ）



空調専門誌「the NEWS」  
主催ディーラーデザイン賞  
銀賞（米国）

## ■脱臭機「PLAZION（プラズイオン）」に“コンパクトタイプ”をラインアップ

近年、住宅の高気密化や室内でペットを飼育する方の増加などにより、ニオイ除去に対する関心が高まっており、リビングルームだけでなく、寝室や子供部屋などのプライベート空間や、キッチン、トイレなどの小スペースにおいても脱臭に対するニーズが増大しています。

当社は、家庭用脱臭機「PLAZION（プラズイオン）」の今シーズンモデルとして、加湿、除菌等の機能を備えたリビング向けタイプのほか、キッチンやトイレなどの小スペースから10畳までの空間で利用可能なコンパクトタイプをラインアップに追加し、11月から発売を開始しました。

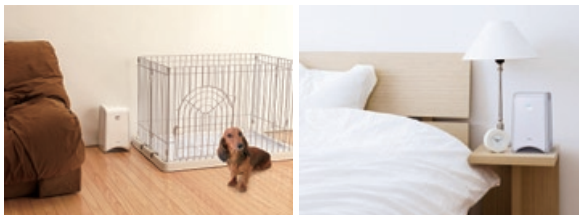
本製品は、送風機などの小型高性能化を図ることで、高さ28.2cm、重さ2.2kgと置き場所を選ばないコンパクトサイズでありながら、リビング向けタイプと同様の「トリプル脱臭」機能を搭載し強力な脱臭性能を実現しました。

当社は、スペースや生活シーンに合わせた脱臭機を提供し、快適な室内空間づくりをサポートしてまいります。



高さ  
28.2cm

「PLAZION（プラズイオン）」  
コンパクトタイプ（DAS-15B）



小型軽量のため、持ち運び自在でさまざまなシーンで使用可能。  
脱臭のほか集じんもでき静音設計のため寝室での使用にも最適。

## ■本格化する消防救急無線システムのデジタル化商談

昨年3月の東日本大震災を機に各地で災害対応インフラの整備事業が進むなか、2016年5月にデジタル化移行期限を迎える消防救急無線システムの商談が前倒しで本格化しています。

従来のアナログ方式からデジタル方式に切り替わることで、無線通信が集中した場合でも音声の輻射・混信が抑制できるほか、消防本部間の無線交信が容易になるなど、大規模災害への対応力強化を支える通信基盤として期待されています。

当社は、独自の高効率・高周波アンプによりアナログ無線機とほぼ同じサイズで高出力・省電力を達成した無線機を開発するなど、デジタル化に伴う機器の大型化を解消した製品を他社に先駆けて提供しています。また、指令システムとの連携機能や拡張性の高いシステム提案に取り組み、受注は好調に推移しています。

今後も、現場の方々には実際の操作・運用を実感していただけるセミナーの開催や、システム導入・運営の支援体制強化により、スムーズなデジタル化移行をサポートしてまいります。

### 消防救急デジタル無線システムを構成する主要機器例



指令センター

無線通信の集中制御・統制を行う  
無線統制台・回線制御装置



中継基地局

指令センターと移動局無線機  
をつなぐ中継基地局設備



移動局無線機

消防車両および消防隊員が  
使用する移動局無線機  
(左：携帯型、右：車載型)

## 株式会社 富士通ゼネラル

〒213-8502 川崎市高津区末長1116番地  
TEL 044 (866) 1111 (大代表)  
<http://www.fujitsu-general.com/jp/>

### 株式事務のご案内

---

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告した期日といたします。
公告方法	電子公告（下記ウェブサイトに掲載いたします） <a href="http://www.fujitsu-general.com/jp/">http://www.fujitsu-general.com/jp/</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。
上場証券取引所	東京（証券コード：6755）

---

#### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。